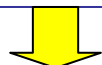


核態勢の見直し(NPR)概要(1)

(Nuclear Posture Review)(2010年4月6日(米国時間)発表)

安全保障環境認識

- **核テロリズムは今日における最も切迫した最大の脅威**:アルカイダ等は核兵器の獲得を追求しており、使用することを前提
- **核拡散は差し迫った脅威**:核兵器を追求しようとする**北朝鮮とイラン**の活動は地域の不安定性を増大、核不拡散体制を弱体化させ国際社会の安定に悪影響
- 核保有国、特に**ロシアと中国との戦略的安定性を確保**する必要
 - ・ ロシアは核兵器能力において米国と唯一匹敵する国だが、冷戦後、米露関係は根本的に変化、**もはや米露は敵対していない**
 - ・ 力強く、繁栄し、成功した中国がより大きな世界的役割を果たすことを歓迎、核兵器の質的量的な近代化を含む**中国の軍事力の近代化の速度と範囲を懸念**、近代化プログラムの速度、範囲、戦略及びドクトリンに関する透明性の欠如は**中国の将来の戦略的意図について疑問**を生じさせるもの



- 変化した安全保障環境に米国の核態勢を適応させる必要
- 通常兵器能力向上等→核の役割を低減する戦略が可能

核政策・態勢の5つの主要目標

①核拡散と核テロリズムの防止

- 核不拡散体制強化のための取組
 - ・ **北朝鮮及びイランの核兵器獲得への野心を転換**させる
 - ・ 核不拡散条約(NPT)の不遵守に重大な制裁等が科される環境を創出する
 - ・ IAEAの保障措置を強化する 等
- 核テロリズム防止のための取組
 - ・ **4年以内に全ての脆弱な核物質の安全を確保、核セキュリティ・サミット開催**
 - ・ **エネルギー省の核不拡散プログラムの予算を拡大**する(約27億ドルに)
 - ・ 核テロリズムを支援する国家、テロリスト集団又は非国家主体の責任を徹底的に追及するというコミットメントをあらためて表明する 等
- 軍備管理・軍縮促進のための取組
 - ・ ロシアと**新START条約**を締結する
 - ・ **包括的核実験禁止条約(CTBT)の批准及び早期発効**を追求する 等

NPRの構成

- 序論
 - 変化した—及び変化している—核をめぐる安全保障環境
- 核拡散と核テロリズムの防止
 - 米国の核兵器の役割の低減
 - 低減された核戦力レベルでの戦略的抑止と安定の維持
 - 地域的抑止の強化と同盟国・パートナー国に対する安心供与 (reassuring)
 - 安全で確実に効果的な核兵器の維持
- 今後の展望:核のない世界へ向けて

02NPRの構成

- ・ 脅威ベースから能力ベースへ
 - ・ 新しい三本柱(攻撃能力、防衛システム、国防インフラ)
 - ・ 戦略核を2200発以下に削減
 - ・ 地中貫通型小型核の開発
 - ・ ミサイル防衛等の推進等
- ※NPRの発表は今回が3回目。
94、02のNPRは一部のみ公表。

核態勢の見直し(NPR)概要(2)

(Nuclear Posture Review)(2010年4月6日(米国時間)発表)

②米国の核兵器の役割の低減

- 米国の核兵器の根本的(fundamental)な役割は、**米国、同盟国、パートナー国に対する核攻撃の抑止**
- 通常兵器の能力強化に取り組み、非核手段による攻撃を抑止するに際して核兵器の役割を低減
→しかし、現在、核兵器の役割を**核攻撃の抑止という単一目的(sole purpose)に限定する用意はなし**
- 米国、同盟国・パートナー国の極めて重要な国益を防衛するための、**極限の状況**(extreme circumstances)でのみ核兵器の使用を考慮
- **NPTに加盟し、核不拡散の義務を遵守している非核兵器国に対しては核兵器を使用せず**、核兵器による脅威を与えない(消極的安全保証:Negative Security Assurance)
- 生物化学兵器による攻撃に対しては、通常兵器による壊滅的な反撃で対応
- バイオ技術の進展等を考慮し修正を加える権利留保

- ★ **核兵器使用の対象・条件を表明**
- ★ **同盟国等への拡大抑止の安心供与**

③低減された核戦力レベルでの戦略的抑止と安定の維持

- 新START条約に向けた取組
 - ・ **配備核弾頭と運搬手段を削減**
 - ・ ICBM、SLBM、重爆撃機による**核抑止の三本柱は規模を縮小して維持**
 - ・ 短期的には14隻のオハイオ級潜水艦を維持、2010年代後半に12隻への削減検討(配備弾頭数は維持)
 - ・ **ICBMを全て単弾頭化**
 - ・ 重爆撃機や非核の迅速なグローバル打撃(prompt global strike)等による長距離攻撃能力の組み合わせの研究等
- 非戦略核兵器
 - ・ 米露間の将来の削減対象とすべき
 - ・ 通常兵器と核兵器の双方を搭載可能な戦闘機(F-16&F-35)を保持、B-61弾頭の寿命延長
 - ・ **核搭載海上発射型巡航ミサイル「トマホーク」(TLAM-N)の退役**→他の手段で代替可能
- **ロシアと中国との対話を通して戦略的安定性強化**

④地域的抑止の強化と同盟国・パートナー国に対する安心供与

- 2国間及び地域的な安全保障上の結びつきを強化し、同盟国等と緊密に取り組むという約束を完全に果たす
- **地域の安全保障構造の強化:ミサイル防衛、WMD対処能力、通常戦力投射能力等**
- **同盟国・パートナー国との緊密な協議無しに米国の拡大抑止の能力に変化がもたらされることはない**
- 東アジアと中東の同盟国・パートナー国との戦略対話を追求、**米国の拡大抑止が信頼でき効果的なものであるとの安心供与**
- 戦術戦闘爆撃機(将来的にはF-35)及び重爆撃機(B-2、B-52H)の前方展開能力を保持

⑤安全で確実に効果的な核兵器の維持

- **核実験を実施せず**、CTBTの批准を追求する
- **新しい核弾頭を開発しない**
- 核弾頭の安全性・確実性・効果性を確保するため、**寿命延長プログラム(LEP)を実施**する:W-76弾頭(潜水艦用)のLEPの推進、B-61弾頭のLEPの研究等の推進、W-78弾頭(ICBM用)のLEPの研究開始
- 必要最低限の水準の貯蔵核兵器を保有
- 核弾頭廃棄の加速、非配備核弾頭の削減の検討
- **LEPの実施に必要な科学・技術・工学的基盤の強化**
- ロスアラモス国立研究所の核関連プロジェクトへの予算措置